

新着情報

- 「広島市立高等学校学力向上推進事業」の研究指定校に認定。協同学習を通じて可能になる「豊かで深い学び」の探究と協同的・主体的に学ぶ集団づくりのため授業改善に取り組んでいる。

入試結果

	募集定員	選抜Ⅰ			選抜Ⅱ			選抜Ⅲ	
		定員	受験者数	倍率	定員	受験者数	倍率	定員	志願者数
2019年度	240名	48名	75名	1.56倍	192名	260名	1.35倍	—	—
2020年度	240名	48名	69名	1.43倍	192名	266名	1.39倍	—	—
2021年度	240名	48名	47名	0.98倍	193名	220名	1.14倍	—	—

2022年度募集要項

◆【募集定員】240名

◆選抜Ⅰ

- <募集定員> 48名(20%)
- <選抜方法> 調査書・面接+小論文

>>2021年度入試実施状況<<
 <小論文> 60分・400～600字
 <面接> 5～7分・個人面接(先生2～3人:生徒1人)
 面接・小論文の結果、推薦書、志望理由書及び調査書によって総合的に判断する。

◆選抜Ⅱ

- <募集定員> 192名(80%)
- <傾斜配点> 数学・英語2倍
- <学力:調査書> —
- <全員面接> —
- <実技検査> —

学校情報

●カリキュラムについて

- 生徒個々の能力・適性、進路希望に応じた教科・科目が選択できる教育課程を設定している。1年次には、国語、数学、英語を重点的に学び、きめ細かな学習指導を通して基礎学力を定着させ、「自ら学ぶ姿勢」を確立させる。2年次では、文科型と理科型に分かれる。さらに3年次では、文科型では、国公立大学コースの文科Ⅰ型と私立大学コースの文科Ⅱ型に分かれ、各自の希望進路に適した学習を行うことによって、効率的に進路実現をめざしている。

●教育活動の特色について

- 協同学習型授業…「自分の学びが仲間の役に立ち、仲間の学びが自分の役に立つ」といった相互貢献と相互承認を基盤とした学習を目指している。
- 習熟度別少人数授業…1、2年生の国語・数学・英語で2クラスを3クラスに分け、きめ細かい指導を行っている。また年間複数回、少人数のクラスを入れ替え、生徒の習熟度に応じた学習指導を行っている。
- 学力をつける取り組み…1、2年生では基礎学力の定着を、3年生では大学入試対策を目的とし、主に平日の放課後や土曜日に実力養成ゼミを各科目で実施している。8月上旬には全学年から希望者を募り集中対策ゼミを実施しているほか、春季休業中には新3年生対象に春季学習会も実施している。

●部活動について

- 体育系も文化系も部活動が活発。毎年多くの部活動が全国大会や中国大会に出場。

●学期制について

- 3学期制で1コマ50分授業。月曜日と火曜日、水曜日は7時限。

●指定校推薦について

- 広島修道大、安田女子大、広島工業大、広島女学院大、広島経済大、広島文教大、同志社大、関西大、立命館大など多数あるが、一般入試で受験するため、希望者は少ない。

クラブ活動

- 体育系 水泳/剣道/弓道/テニス/バスケットボール/バレーボール/陸上/サッカー/体操/硬式野球
- 文化系 美術/書道/吹奏楽/E.S.S/コンピュータ/科学/放送/演劇/茶華道/新聞・文芸/あすなる会

進路実績

大学の合格実績については、現役生・過年度生の合計人数。

	広島大	県立広島大	広島市立大	国公立合計	広島修道大	安田女子大	私大合計	短大	専門学校	就職
2019年度	2名	2名	7名	19名	60名	35名	339名	25名	52名	1名
2020年度	2名	6名	8名	29名	66名	33名	384名	16名	28名	3名
2021年度	4名	3名	8名	30名	119名	28名	497名	19名	46名	3名